

岐阜県大会要項

陸上競技

- 1 期 日 令和6年7月14日(日)、15日(月)(午前6時暴風警報等発令中は中止順延)
学校受付 7月14日、15日 7:30~8:30(開場7:30)
競技開始 7月14日、15日 9:00(プログラム訂正8:30まで)
開会式 7月14日 8:45(放送にて実施)
閉会式 7月15日 競技終了後(放送にて実施)
- 2 会 場 岐阜メモリアルセンター 長良川競技場 TEL 058-232-8822
- 3 規 則 2024年度日本陸上競技連盟規則、並びに本大会規則を適用する。
- 4 種 目 男子 1年 100m 1500m 2年 100m 1500m 3年 100m 1500m
共通 200m 400m 800m 3000m(1年を除く) 110mH(0.914m, 9.14m)
低学年4×100mリレー 4×100mリレー
走高跳 棒高跳 走幅跳 砲丸投(5.000Kg) 円盤投(1.5Kg)
- 女子 1年 100m 800m 2年 100m 3年 100m
共通 200m 800m(1年を除く) 1500m 100mH(0.762m, 8.00m)
低学年4×100mリレー 4×100mリレー
走高跳 棒高跳 走幅跳 砲丸投(2.721Kg) 円盤投(1.0Kg)
- ※タイムテーブルはプログラム編成後にホームページに掲示する。
- 5 競技規定 (1) ハードル競技は、日本陸上競技連盟中学校競技規格による。
(2) 1500mを除くトラック競技の予選はタイムレースとし、上位8名をもって決勝を行う。タイムによる決勝進出者の決定について、同記録(1000分の1)があり、レーン数が不足するときは抽選を行う。抽選は、本部が該当者をアナウンスにより招集して行う。該当者は、アナウンスより10分以内に本部へ集合する。進出決定者の発表は、アナウンス・大型映像およびホームページにて掲示する。
(3) 1500mの予選はタイムレースとし、決勝は12名で行う。
(4) 3000mはタイムレース決勝とする。着順6位において同記録(1000分の1)があるときは抽選を行う。抽選は、本部が該当者をアナウンスにより招集して行う。該当者は、アナウンスより10分以内に本部へ集合すること。
(5) レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンをあける。
(6) 計時方法は写真判定(1/100秒)とする。
(7) スパイクは、9mm以下を使用する。ただし、フィールド競技の走高跳は12mm以下を使用する。
(8) リレーチームは、招集所にオーダー用紙を招集完了時刻1時間前までに提出すること。オーダー用紙が時間どおり提出されない学校は棄権とみなす。
(9) トラック種目のシューズの靴底の厚さについては、800m未満の距離の種目は20mm、800m以上の種目は25mm以下とする。フィールド種目の靴底の厚さは20mm以下とする。
(10) 女子棒高跳、男子円盤投、女子円盤投を除くフィールド種目は1日目に予選を行い、予選記録上位12名により2日目に決勝を行う。
(11) 女子棒高跳と男子円盤投、女子円盤投は東海総合体育大会の種目であり、全日本中学校陸上競技選手権大会の予選とはならない。
(12) フィールド競技の計測は次の通りとする。
走高跳 男子：練習 1m40 1m45-1m50-1m55-1m60-1m65-1m70-以降3cmずつ
女子：練習 1m25 1m30-1m35-1m40-1m45-1m48-1m51-以降3cmずつ
棒高跳 男子：練習 2m20・3m50 2m40-2m60-2m80-3m00-3m20-3m40-3m60-以降10cmずつ
女子：練習 1m60・2m20 1m60-1m80-2m00-2m20-2m40-2m60-2m80-以降10cmずつ
走幅跳 男子：5m20
女子：4m20
砲丸投 男子：8m20
女子：8m20
円盤投 男子：15m00
女子：10m00
※ただし、気象条件等により審判長の判断で変更することがある。

- 6 参加資格 (1) 個人種目とリレー種目は同一団体名で参加をする。
(2) 1人1種目とする。(リレー・投擲の特例を除く)
(3) 投擲の特例：砲丸投と円盤投の組み合わせで1人2種目参加することができる。
(4) 1団体1種目1名(リレーは1チーム)とする。棒高跳と円盤投は2名とする。
(5) リレーの2種目(低・共通)は兼ねてエントリーすることができない。
(6) 低学年リレーの走順は、2・1・1・2年とする。
(7) 制限外標準記録を突破した選手は、1団体1種目1名の制限外とする。いかなる場合においても1人1種目に限る。次頁の「制限外標準記録」を2023/9/1～申込み締め切りまでの期間に突破した選手であること。また、制限外を適用できるのは1団体1種目2名までとし、最大でも1団体1種目3名まで(棒高跳と円盤投を除く)とする。

※(7)にかかわって、東海大会への参加は各団体1種目2名であるため、3名が出場し、3名とも6位までに入賞したとしても、各団体上位2名のみ東海大会に参加できる。その場合、他団体の7位以降の順に繰り上げて東海大会の参加資格が与えられる。

※砲丸投と円盤投において、東海大会への参加はどちらか1種目となる。その場合、上位の選手から順に種目を決定する権利がある。東海大会への参加については、決勝競技終了後に調整をするため、選手は東海大会受付に集合すること。

7 地域クラブ活動等の参加について

「岐阜県中学校総合体育大会 陸上競技参加規程」

岐阜県の学校に在籍している日本陸上競技連盟および岐阜陸上競技協会に登録をしている選手で、在籍する学校または岐阜県中学校体育連盟に登録をしている地域クラブ活動の所属のどちらかで参加できる。また、岐阜県外の学校に在籍する日本陸上競技連盟および岐阜陸上競技協会に登録をしている選手で、在籍する学校に希望する部活動がない場合においてのみ、所属する岐阜県の地域クラブ活動から都道府県をまたいだ大会参加ができる。

全日本中学校陸上競技選手権大会に参加する場合は、その指定大会(通信陸上、県大会)は同一の所属で参加すること。

リレーは、「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」又は登録メンバー全員が同一学校に在籍している場合に限り、地域クラブ活動の所属で参加することができる。複数の種目(リレーを含む)に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。

- 8 表彰 各種目優勝者(リレー優勝チーム)から8位までに賞状を授与する。

- 9 申込み <期日> データアップロード 6月19日(水) 郵送 6月25日(火) 必着

<方法> 岐阜陸上協会ホームページ「大会スケジュール」より、「申込ファイル」をダウンロードする。必要事項を入力し、ファイルを岐阜陸上競技協会ホームページの中体連「大会スケジュール」からアップロードする。

合計金額(参加人数×1000円)を下記の口座に振り込む。

※金額、口座を間違えないように確認すること

※振込手数料は、振込元で負担すること

<振込先>

十六銀行 店番102 岐阜市役所支店

口座番号 普通 1277939

岐阜県中学校体育連盟 会長 今西 卓

申込ファイルを印刷し、裏に振り込み控えのコピーをのりで貼付する。
下記の担当者に郵送すること。(6月25日必着)

- 10 感染対策 感染症の流行状況に応じた対応を行う。

- 11 その他
- (1) 岐阜陸上競技協会に登録したナンバーで参加すること。(登録が必要)
 - (2) 大会参加料として、一人につき 1000 円を徴収することとする。申し込む際に、出場人数×1000 円を支払うこととする。リレーの登録選手については、個人種目で県大会へ参加する場合は必要としない。
 - (3) 参加団体の指導者 1 名以上は審判員等として大会期間、競技運営に協力する。
 - (4) 本大会は、全国中学校陸上競技選手権大会、東海中学校陸上競技大会の予選を兼ねる。但し、全国大会は、①個人種目は、参加標準記録突破者、②リレー種目は、通信陸上大会と本大会の優勝チームのうち、予選記録と決勝記録を合わせ、記録のよいチームに出場権を与える。東海大会は、6 位（6 名、6 チーム）までとする。本年度の全国大会は福井県、東海大会は三重県で開催される。
 - (5) 全国大会出場者は参加料 4.000 円（ナンバーカード代含む）
東海大会出場者は、参加料 3.000 円（ナンバーカード代含む）
が必要である。
 - (6) 東海大会については、東海大会受付にて出場権のある全ての選手の参加意志の確認をする。（出場権を得た選手は表彰後に受付に来ること）また、東海大会の申込みについては、県大会当日、または通信陸上で東海大会受付係にて行うことができる。東海大会参加料・ナンバーカード代を払うこと。また、一覧表も提出する（一覧表は後日でもよい）。申込用紙については地区の委員長からもらうこと。一覧表にナンバーは記入しない。
全国大会の申込みについては、県大会当日、または、通信陸上の際に全国大会受付係に申し出る。
- ※7月29日(月)、神戸 中学校において受付業務を行う。
申込み受付は7月29日 9:00～16:00 (全国・東海大会) までとする。

- (7) ゴミは各校で持ち帰ること。
- (8) リレーの申込みについては、4人以上6人までとする。
- (9) 担当者 〒503-2321

安八郡神戸町末守311番地 神戸町立神戸中学校

酒井 俊輔 宛

TEL 0584-27-2045

Fax 0584-27-9203

E-mail sakai_syunsuke@goudocho-gif.ed.jp

制限外標準記録<男子>

1年100m	13. 10
2年100m	12. 60
3年100m	12. 10
200m	25. 00
400m	57. 50
800m	2. 15. 00

1年1500m	4. 55. 00
2年1500m	4. 45. 00
3年1500m	4. 35. 00
3000m	10. 00. 00
110mH	17. 30
走高跳	1m45

棒高跳	標準なし2名まで
走幅跳	5m00
砲丸投	8m00
円盤投	標準なし2名まで

制限外標準記録<女子>

1年100m	14. 20
2年100m	13. 70
3年100m	13. 20
200m	28. 50
1年800m	2. 42. 00

800m	2. 35. 00
1500m	5. 15. 00
100mH	16. 50
走高跳	1m30
棒高跳	標準なし2名まで

走幅跳	4m00
砲丸投	8m00
円盤投	標準なし2名まで

<制限外標準記録にかかわって>

上記の記録を突破した選手は、「1団体1種目1名まで」の制限を外すことができる。制限外は2名まで適用できる。つまり、制限外を最大に適用しても1団体1種目3名となる（棒高跳と円盤投は2名まで）。なお、1人1種目の制限は絶対である。（リレーおよび投擲の特例を除く）

この条件を適用した際、東海大会への参加は各団体1種目2名であるため、3名本大会に出場し、6位までに3名とも入賞したとしても、各団体上位2名のみ東海大会に参加できる。その場合、他団体の7位以降の順に繰り上げて東海大会の参加資格が与えられる。